

新人議員あいさつ

とみざわ まさ ふみ
富沢 雅文



この度、町議会議員補欠選挙において当選した富沢雅文です。出身は二居、現在55歳になります。大学卒業後、平成5年に湯沢町役場に採用され、令和7年9月末まで約33年間勤務させていただきました。役場を退職した理由は、両親が50年前に二居で始めた旅館業を継業するためです。

ちようど退職するタイミングで地域の方から「行政の経験を活かして議員に挑戦してもらえないか」というお話をいただきました。というのも大字三国では約10年間、議員がいなかったためです。このお話をいただき、私も自分の経験を地域のために活かすことができればという気持ちがあったため、立候補を決意しました。私の一番の強みは、長年の行政経験を活かして、地域の皆さん、町民の皆さんと行政をしっかり繋ぐこと、そして行政時代に築いた国・県関係機関との人脈を、湯沢のまちづくりに活かしていくことです。

我が町の持つ立地、交通インフラ、自然環境などの資源は、潜在的なポテンシャルが非常に高いものです。こうした資源をさらに活用しながら、行政時代に解決することのできなかった課題を、新たな立場で町執行部とともに解決できるよう頑張っております。今後ともご支援ご鞭撻をお願い申し上げます。



本年もよろしくお祈いします

編集後記

新年明けましておめでとうございます。

さて、今冬の始まりは降雪が遅く心配されましたが、なんとかスキー場もオープンでき、お客様をお迎えして新年を迎えることができました。

しかし、国際情勢がさらなる混乱を深め、高市新内閣の信を問う政局になってきました。目先のことだけにとらわれない地方自治の取組みも問われるところです。

この度の『議会だより』編集は、議会の広報研修の学びを活かし、読みやすさを追求しながら、町民の皆様特に読んでほしい部分に絞って編集しました。

つきましては、ご意見・ご要望をお寄せ頂けましたら幸いです。

編集委員 南雲 好幸

議会広報常任委員会

委員長 南雲 好幸

副委員長 水谷 幸乃

委員 富沢 雅文

委員 飯田 正義

委員 南雲 あや子

委員 渡辺 千恵